

**メーキャップ 状況**  
 2月2日(月) 和歌山北R.C. 村田 昌之 / 2月3日(火) 和歌山R.C. 樫畑 友洋  
 2月4日(水) 和歌山東南R.C. 山野 武彦 / 2月5日(木) 大阪大淀R.C. 堀井 孝一

**はこぼこ箱**

ありがとうございました

京谷 知明さん 卓話のお礼を頂きました。  
 谷口 文利さん 京谷様、本日はお忙しいところありがとうございます。  
 中山 恒夫さん 2640地区世界社会奉仕委員会アドバイザー京谷知明様をお迎えして。  
 山本 進三さん 先日、節分の日に樫畑SAAと別団体の会合で京都に行ってきました。  
 初めて芸者さんの「おぼけ」を見ることができました。  
 貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。  
 角谷 芳伸さん 京谷アドバイザー様、本日は遠いところ卓話に来て頂いてありがとうございます。  
 阪神タイガース応援団一同  
 50周年を応援しましょう。  
 八幡 建二さん 堺フェニックスR. C. の京谷知明さん、本日はお忙しい中、ありがとうございます。  
 前田 成蔵さん 例会を楽しみましょう。  
 樫畑 友洋さん 先般、雑賀小1年の娘のクラスにもたくさん絵本が届いたそうです。  
 男子には「ほねほねくん」が、女子には「クルリンちゃん」が人気だそうです。  
 父兄のひとりとして改めて御礼申し上げます。

【本日の累計 30,400円(計8名 9件)(お誕生日お祝い 520,000円 皆出席 110,000円 その他 1,953,154円) 累計額 2,583,154円】

**本日の例会 2月12日(木)**

- 卓話 和歌山県議会議員 尾崎 太郎さん
- 皆出席表彰  
 角谷 芳伸さん 5年皆出席 通算 5年  
 真野 賢司さん 1年皆出席 通算23年  
 岡野 年秀さん 1年皆出席 通算17年  
 山本 進三さん 1年皆出席 通算12年  
 瀧川 嘉彦さん 1年皆出席 通算 2年
- ピアノ演奏 中井 利枝さん  
 恋のサザンクロス(パッサ)  
 パッサ・トウ・ザ・フューチャー(パッサ)

**次回の例会 2月19日(木) 12:30~ 於和歌山東急イン**

- クラブフォーラム「50周年記念式典について」

**前回の例会 2月5日(木)**

- クラブフォーラム「世界社会奉仕」
- 卓話「WCSについて」  
 国際ロータリー第2640地区世界社会奉仕委員会  
 アドバイザー 京谷 知明さん
- ロータリーソング 島 公造 ソング委員長  
 「奉仕の理想」
- ビジター紹介 森川 宏昭 親睦委員  
 和歌山R.C. 中谷 弘 さん
- 出席報告 島 公造 出席委員長  
 会員数54名(内出席規定適用免除会員9名)

2月5日(本 日)	38名	84.4%
1月22日(メイキャップ後)	43名	95.7%

市内ロータリークラブ情報	クラブ	日 時	内 容
	和歌山城南R.C.	2月12日(木)	和歌山アゼリアR.C.との合同例会
	和歌山南R.C.	2月13日(金)	卓話「妹背山海禅院徳川期伽藍復興事業の意義と効果」妹背山護持顕彰会 会長 松本 恵昌さん
	和歌山中R.C.	2月13日(金)	チャーターナイト記念例会
	和歌山北R.C.	2月16日(月)	未定
	和歌山アゼリアR.C.	2月16日(月)	卓話「日本に留学して」カテリーナ・イエローさん
	和歌山R.C.	2月17日(火)	卓話「心の健康と感性」メンタルヘルスアドバイザー 川崎 達也さん
	和歌山西R.C.	2月18日(水)	卓話
	和歌山東南R.C.	2月18日(水)	38周年記念例会

国際ロータリー第2640地区 和歌山東ロータリークラブ 創立/1959年2月23日  
 例会場/ルミエール華月殿 和歌山市屋形町2-10 TEL (073) 424-9392 例会日 木曜日 12時30分  
 事務局/〒640-8142 和歌山市三番丁6関西西電ビル5F TEL (073)432-4343・FAX (073)432-4845  
 会報・広報委員会 嶋 弘伸 古屋 光英 笹島 良雄 武田 慎介 吉田 篤生



2008~2009年度 国際ロータリーのテーマ

「夢をかたちに」~Make Dreams Real~

2008~2009年度 和歌山東ロータリーのテーマ

「ロータリーの魅力再発見」

国際ロータリー第2640地区

和歌山東ロータリークラブ

URL: http://www.werc.jp  
 E-mail: info@werc.jp

2009年 2月12日(木) 週報 / VOL.50 No.30(通巻2393)



**会長報告**

八幡 建二 会長



皆さん こんにちは。先日お正月を迎えたと思ったら、あっという間に今日はもう2月5日ということで、月日の経つのは非常に早く感じます。何度もお話しておりますが、もう後2週間と少しになりました2月21日は50周年式典です。今日も打ち合わせをしていただきましたが、どうか最後の最後までご協力をよろしく願いたします。

昨日は立春ということで、本当に昨日今日は春のように暖かく、これがいつまで続くか心配ですが、どうか皆様も健康にご注意いただきたいと思います。

お正月から、先日は節分があって、もうすぐ雛祭り、その次には五月人形を飾って、私がそんな歳になったのかもしませんが日本には小さいころからこういう風習があって、意識なくやってきたのですが最近つくづく日本でよかったなあと思います。当クラブでは還暦や長寿のお祝いをするのですが、今まで「満」や「数え」でいろいろ問題になっていました。本年度からは60歳の還暦のお祝いは「満」で、その他の長寿のお祝いは「数え」ですることになっております。昨年までは全て「満」でやっておりましたので今年「数え」になりますと2年間に渡ってお祝いする方もいらっしゃると思います。近々お祝いをしたいと思っておりますのでそのときはどうかよろしく願いたします。

「数え」といえば、「満」に一歳足せばいいと思っておられる方がいらっしゃるようですが、「満」は生まれてから一年満期ということで誕生日の一日前の夜の12時に達したとき、ちょうど一年が終わったので満一歳になるわけです。「数え」の場合は生まれたときに一歳、お正月がきたら二歳、あとは毎年お正月がくる度に一歳ずつ歳をとっていきます。ですから「数え年」は一概に一歳足すわけではなく、例えば今年誕生日がまだの人は「満年齢」に「2」を足します。今年すでに誕生日を迎えた人は「1」を足します。

今年のお祝いは去年の7月から今年の6月30日の間に「満」で還暦になった方のお祝いと「数え」で長寿になった方のお祝いを、今年の春頃しようと思っておりますのでどうかご協力をお願いいたします。以上です。ありがとうございました。

**幹事報告**

前田 成蔵 幹事



- ・2640地区の挑戦
- ・サンケイ新聞 掲載分 小冊子 購入のご案内
- ・ラジオ大阪 放送分 ホームページでの試聴のご案内
- ・2640地区 地区大会  
 4月26日(日) 17:00~ 懇親会参加のご案内 登録料:1万円
- ・2月19日 例会 東急インに変更 50周年記念式典の準備・予行演習
- ・2月26日 例会 休会
- ・シンガポールロータリークラブより、50周年のお祝い記念品をいただきました。
- ・イースト会 ゴルフコンペのご案内 3月20日(祝)天野山カントリークラブ



**委員会報告**

**ソング委員会**

島 公造 委員長



来週の例会前、12時から15分程度、ここでソングの練習をしたいと思っております。入会3年未満の方はレッスンをよろしく願いたします。以上です。

## 卓 話

## 世界社会奉仕「WCSについて」

国際ロータリー第2640地区世界社会奉仕委員会 アドバイザー(堺フェニックスRC) 京谷 知明さん



本日は、お招きをいただき、誠に有難うございます。日頃は、地区の世界社会奉仕委員会の事業に格別のご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

まだまだ不慣れでは御座いますが、一生懸命頑張りますので、最後までよろしくお願い申し上げます。

それでは、世界社会奉仕「WCSについて」お話しさせていただきます。

まず初めに、WCSの制度的なことは簡単にお話しさせていただきます。

WCSの取り組みにつきましては、1962年から、2カ国以上のロータリークラブが共同でプロジェクトを実施することを基本にスタートし、RIでは、1967年からはWCSプロジェクト交換事業が開始され、プロジェクト交換一覧のデータベースを活用して、パートナー探しを支援しています。なお、資金については、ロータリー財団補助金プログラムとして、マッチング・グラント・プロジェクトを活用するなど、いくつかの補助プログラムが用意されていますが、これらの補助プログラムは、手続きが難しく、制約も多いことから、活用しづらいという欠点もあります。

しかし、WCSプロジェクトには、小規模な教育里親制度、奨学金制度、学校設備、教材、開眼手術などの医療補助、井戸堀りなど1,000 \$以下でできるものもたくさんあり、ロータリー個人やクラブレベルで協力することが可能なプログラムが多く存在しています。たとえば小規模なWCSであったとしても、会員自身はそのプロジェクトを選定し、努力を重ねて実行する方が、共にWCS活動に参加したという喜びを感じることができ、更にクラブの自主性を最優先するというロータリーの管理原則にも合致するのではないのでしょうか。

地区の世界社会奉仕(WCS)委員会の取り組みですが、既にご承知のように、基本姿勢として、水管理、識字、保健・飢餓問題を重点に「IM又はクラブ単位でのクラブ主導型のWCS(世界社会奉仕)活動」を推奨しています。

このため、当地区では、地区独自の「WCS地区ファンド補助金」を設け、出来るだけ多くのクラブが自主的に活動してもらえる制度として、活用いただいております。

地区ファンドの資格要件は、最低2カ国(プロジェクト実施国以外の援助国およびプロジェクト実施国)のロータリークラブあるいは地区が、協力してプロジェクトを計画、実施、完了するものとし、事前に地区に申請し、承認を受けていただきます。地区ファンド金額は、会員一人当たり年間6,000円(上限)の同額補助となっています。

地区内の各プロジェクトは、年度単位でホームページに掲載していますので、是非、ご覧ください。また、会員規模の関係で地区内の複数のクラブが共同して参加してもらうことも出来ます。

なお、WCSの情報や参考資料等は、最近ではホームページで、かなり詳しく掲載されています。是非一度ご覧いただき

たいと思います。

プロジェクト選定やパートナー探しなど、計画段階から、地区のWCS委員にご相談いただければ幸いです。

## 参 考

地区ファンド補助金の使用は、以下の事項を満たしてください。

1. ニーズをもつ地域社会に恩恵を与える人道的状況に取り組む。
2. ロータリアンが積極的かつ目に見える形で参加する。
3. 個人ではなく、地域社会全体に恩恵を与えるものであることを実証する。
4. 受益地域社会全体のためになる。プロジェクトは、個人の学位取得や職業的向上のために計画されるべきものではなく、また個人が研修や会議、あるいは国際交流に参加することを目的としてはならない。プロジェクトは研修教育を含むことはできるが、その研修は短期かつ基礎的な教育ニーズのみに応えるものでなければならない。
5. 以下の人に直接利益をもたらさない：ロータリアン、ロータリー・クラブ・ロータリー地区・その他のロータリー関係組織または国際ロータリーの職員、その配偶者や直系卑属(血縁による子または孫、入籍している養子)、直系卑属の配偶者、または生存ロータリアンあるいはロータリー職員の尊属(血縁による両親または祖父母)。
6. 地区委員会および地区に対し、補助金額を支払うこと以外の責任を一切負わずものではない。
7. ワクチンおよび予防接種に関わりのあるプロジェクトは、ポリオ・プログラムと世界保健機関の基準、手続、方針に従う。

また、補助金を使用できないものは、

1. 土地および建物の購入。補助金プロジェクトが建物の建設を伴う場合、建設は「地区ファンド」の対象とならない。追加のクラブ/地区資金で賄うか、または協力団体からの資金により調達しなければならない。地区委員会はこのような建設工事が完了するまで「地区ファンド」補助金を支給しない。
2. 居住、仕事、営利活動に従事するための建物、あるいは製造、加工、保守、貯蔵などの活動を営む建物、コンテナ、および仮設住宅の建設に関わる活動。側道、井戸、貯水池、ダム、掘り込み式便所、トイレ式、給水設備といったインフラ(基幹施設)、およびその他の類似した設備の建設は認められている。
3. 居住、仕事、営利目的の活動に従事するための建物、あるいは製造、加工、保守、貯蔵などの活動を営む建物、コンテナ、および仮設住宅の配電、水道などの設備を新しくするなど、改善することを含む建物の修復等の活動。
4. 協力団体または受益者のために働く個人に対する給与、報酬、謝礼。
5. あらゆる団体の運営費や管理費を賄うこと。
6. 高等教育活動、研究、自己開発または職能開発。

7. 特定の受益者、協力団体またはプロジェクトに対する過度な支援。

8. 人道的な性質をもたない、地域の美化運動や一般的な奉仕プロジェクト。

## 時間的制約

「地区ファンド」は、人道的補助金の支払いと実施の期日を設定した。従って、

- A. 保留になっているマッチング・グラントのプロジェクト・ファイルが6カ月間経っても承認されない場合、補助金は撤回される。
- B. 承認された「地区ファンド」のプロジェクト案件に支払いがないまま6カ月以上が経過した場合、「地区ファンド」補助金は取り消される。
- C. 支払いを受けた「地区ファンド」のプロジェクトが12カ月以内に実施されない場合、補助金は取り消され、地区に補助金を返金することが要求される。

## 協力団体

他団体との協力による補助金プロジェクトは、以下の条件を満たさなければならない。

- A. ロータリーの協同提唱者は、プロジェクトが参加するロータリー・クラブや地区によって実際に開始、管理、実施されることを明確に示さなければならない。ロータリアンは、自分の時間や知識や技能を捧げ、プロジェクトに直接関与しなければならない。
- B. 援助国協同提唱者および地元のロータリー・クラブや地区(該当する場合)の双方は、協力団体に関して認識があり、その団体がプロジェクト実施国の法律の下に登録された上で活動しており、信用性と責任能力のある団体であることを記述した推薦状を提出しなければならない。
- C. このようなプロジェクトに協力する団体は、プロジェクト関連活動の会計監査に参加、協力することに同意しなければならない。

WCSプロジェクトはマッチング・グラント・プロジェクトと同じものであるという誤解があります。マッチング・グラント・プロジェクトと同様に、WCSプロジェクトは2カ国のロータリークラブが関連するものです。しかし、WCSプロジェクトとみなされるのに、必ずしもロータリー財団からの資金を受領する必要がありますというわけではありません。多くのWCSプロジェクトは他国のクラブから直接資金を受けています。さらに、すべてのWCSプロジェクトがロータリー財団からのマッチング・グラントの資金を受ける資格基準を満たしているわけではありません。WCSプロジェクトは、相互の国際理解を深め、お互いのクラブがWCSを通じて親善の絆を培っています。このため、さらに、クラブにおけるWCSへの関心を高めるため、ロータリーファミリーの方々にも直接、世界奉仕活動に参加して頂き、ロータリアンである喜びを感じてもらおう活動を推進するために、クラブの自主性を最優先し、クラブが目標を達成する上で必要な情報と支援をご提供くださいますようお願い申し上げます。

私が、これまでのWCS活動で感じたことは、水管理、識字、保健・飢餓問題といった「生命」や「生活」などの問題の根源は、政府や地域行政の問題と底辺の住民が貧困と戦ってい

るということです。更に、災害や戦争などの要因も重なり、追い討ちをかけているといった悲惨なケースもありますが、私たちの支援のあり方、WCSの活動も少し考え直す必要があるのでは?と最近、感じています。

活動や支援プログラムには当然お金が必要ですが、金額の大小にかかわらず、一時的な生活支援金は、根本的な解決にはならない気がします。たとえ、小規模なプロジェクトであっても、将来に役立つ地道な活動に活用してもらいたいと思います。貧困からの脱却が無い限り、瞬間的に生活が満たされてもすぐもとの悪循環に陥ってしまいます。このため、自立に向けて、生きがいを感じ、目的や希望を持って労働し、生活の糧が得られるための支援が必要ではないでしょうか。労働や生産活動に必要な技術や知識の習得、農業や漁業など生産活動に必要な原資など、具体的に地域の立地や環境にあったプロジェクトを現場のロータリークラブと相談しながら進めていく必要があります。相手のロータリークラブだけにプロジェクトを任せてしまうと後でトラブルや信頼が損なわれたりするケースも多々あります。

もちろん困っている人々は全世界に沢山おられますし、私たちの力では全てを支援することは出来ません。また、支援する団体や組織もロータリーだけではありません。

ただ、少なくとも、縁あって共同でWCSのプロジェクトと一緒にすることになった相手国のロータリークラブとは、必ず訪問し合い、自分の目で見て、肌で感じ、同じロータリアンとして、友好・交流を深め、信頼を築いていく中で、困っている現状を正しく理解することができ、支援プログラムと一緒に考えていくことが出来るようになるのではと思います。

## 海外視察の実施

クラブにおけるWCSへの関心を高めるため、また実際にWCS実施国に赴き、国際規模の問題やWCSプロジェクトを実施する重要性について、ロータリアンの理解を深めるためにWCS海外視察を実施しています。

平成18年には、タイ王国に当地区から、22クラブ97名の参加頂き、平成19年にはインドネシアのバリ島視察に27クラブ126名の参加頂きました。また昨年の平成20年はフィリピン・セブ島におけるWCS活動視察に14クラブ43名の参加頂きました。

地区単位での海外視察では、参加された方々から「参加させていただき、とても良かった。」「現地の状況視察によってWCSの必要性や実際の支援のあり方を勉強することができました。」と言うお声を頂いた上、なんといっても一緒に参加した他クラブの方々との交流、旅によって得た深い親交は、帰国後もロータリーの活動の中で続くと言う素晴らしい成果もありました。

地区委員会としては、今後もロータリー活動の素晴らしさと、ロータリアンである喜びを感じ、世界の人道的プログラムに関心を高め、国際奉仕活動への参加のきっかけになる企画を計画していきたいと思っておりますので、是非ご参加下さいます様お願い申し上げます。

最後までご清聴いただき、有難うございました。貴クラブの益々のご発展を心からお祈り申し上げ、簡単ですが世界社会奉仕「WCSについて」の卓話とさせていただきます。ありがとうございました。